



① ペリー上陸記念碑／

日本の開国を求めて来航したアメリカ海軍提督ペリーが寛永6年(1853)に久里浜海岸に上陸したことを記念して立てられた上陸記念碑。碑文の「北米合衆国水師提督伯理上陸記念碑」は伊藤博文の筆によるもの。公園内にはペリー記念館がある。



② 燈明堂／

浦賀港入口の岬にある和式灯台燈明堂は慶安元年(1648)から明治5年(1872)まで、行き交う船の安全を見守り続けた。石垣の土台の上に建てられた建物で、階上には銅製の燈明皿が置かれ、その光は約7km先からも見えた。平成元年、残存していた石垣の上に復元。



③ 川間町内会館の「漆喰鏝絵彫刻」／

黒潮の流れとともに伝わった漁業の町の漆喰文化。幕末から明治にかけて、浦賀にも漆喰壁を塗る左官職人が数多く暮らしていたとされる。漆喰の見事な作品は、現在でも多くの神社等で見ることができる。



④ 愛宕山公園／

明治24年(1891)に開園した横須賀市で一番古い公園。公園内には幕末ペリー来航の際、応接にあたった中島三郎助の招魂碑と咸臨丸出航の碑と与謝野鉄幹・晶子夫妻の歌碑がある。公園からは浦賀のまち全体が見渡せる。



⑤ 西浦賀の町並み／

海岸沿いの道路から一本入った通りに古い町並みが残っている。江戸時代中期、浦賀奉行所と塩の商人によって基盤が作られ、瀟洒なデザインの商店や石蔵が見られる。



⑥ 浦賀の渡船／

浦賀の東と西を結ぶ渡船。浦賀港は奥が深いので両岸の住民は渡船を江戸時代の頃から現在も日常的に利用している。昔をしのびながらの浦賀港横断。片道大人150円



⑦ 西叶神社／

源平時代、文覚上人が源氏の再興を祈願して、京の石清水八幡宮を勧請したと伝えられる古社で、応神天皇を祭神としている。西浦賀の総鎮守であり、浦賀廻船問屋衆の厚い信仰に守られてきた。



⑧ 東叶神社…勝海舟断食の地／

東叶神社も文覚上人が石清水八幡宮を勧請したと伝えられ、浦賀港を挟んで西叶神社と向かい合っている。勝海舟は咸臨丸でサンフランシスコに上陸する出航前、航海の成功を祈願し、境内にある井戸水をくみ、水ごりを済ませ、山頂で断食修行を行ったと伝えられている。



⑨ 浦賀ドック／

明治30年(1897)に日本で最初のドライドックとして誕生して以来、艦船やタンカーなど、1000隻以上の船を海に送りだし、「咸臨丸」の修理もこのドックで行なわれた。住友重機械工業浦賀工場として2003年まで操業していた。近代遺産として日本に2箇所しかない哀愁が漂うフランス積みレンガドック。

社団法人神奈川県建築士事務所協会

平成23・24年度 第5回・理事会概要

日 時 平成24年2月9日（木）14：05～18：00
 会 場 （社）神奈川県建築士事務所協会 2階会議室
 出席者 22名

- ・定足数の確認を行い、理事25名中20名出席のため定款第32条により会議成立を報告
- ・議事録署名人として古茶理事・玉田理事を選出
- ・定款第31条により上原会長が議長となり議事を行う。

1. 議決事項

(報告事項)

- 第1号報告 会員(1月)の入退会承認についての報告
 続いて、2名の退会と賛助会1社の入会および共済会友1名の入会を報告
- 第2号報告 平成23年度新たな応急仮設住宅調査検討業務委託契約についての報告
- 第3号報告 建築物等調査・鑑定業務事務所要綱の一部改正についての報告
- 第4号報告 後援名義使用依頼（3件）及び使用実績（1件）についての報告
- 第5号報告 東日本大震災支援金についての報告
- 第6号報告 建築士事務所登録(1月)についての報告

(審議事項)

- 第1号議案 正会員(2月)の入会について承認を求める件
- 第2号議案 嘱託職員を事務局職員として採用することについて承認を求める件
- 第3号議案 阪急交通社との企画提携に伴うガイド行為の実施について承認を求める件
- 第4号議案 第56回通常総会に付議することについて承認を求める件

2. 報告事項

(1) 横浜支部に関する報告

(2) 日事連報告

- 1) 日事連建賠保険等調査専門委員会活動報告について
- 2) 平成24・25年度会長候補者の1次推薦について

- 3) 平成24年度からの建築士定期講習の受講料見直し内容の確定について
- 4) 懲戒の実績等に関する調査結果の報告及び懲戒規程等の制定の依頼について
- 5) 日事連・単体会共同要望活動に関するアンケート調査結果の送付について

(3) 各委員会報告

- 1) 総財務委員会（1/5、2/2）
- 2) 技術調査委員会（12/15、1/20）
- 3) 企画業務委員会（12/16、1/21）
- 4) 広報情報委員会（1/31）
- 5) ブロック支部委員会（1/24）
- 6) 支部長合同ブロック支部委員会（1/24）
- 7) 設計監理指導委員会（1/24）
- 8) 「住・緑・家」運営特別委員会（1/11）
- 9) 木造特別委員会（12/22）
- 10) 景観まちづくり特別委員会（12/9、1/5）
- 11) 家づくりセカンドオピニオン特別委員会（12/13、1/17）
- 12) 委員長会（1/12）
- 13) 公益法人制度改革対応専門委員会（12/26、1/17）

(4) その他

- 1) 建設通信新聞掲載記事について
- 2) 行事日程等について

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

第56回・通常総会（予算総会）開催のご案内

日 時 平成24年3月26日（月）15：30～

会 場 横浜市技能文化会館 2F 多目的ホール
 （横浜市中区万代町2-4-7）

議 案 第1号議案 平成23年度更正収支予算案承認の件
 第2号議案 平成24年度事業計画案承認の件
 第3号議案 平成24年度収支予算案承認の件

※通常総会の開催案内と議案書を3月初旬にお送りいたしますので、出欠と書面表決のご回答をお送り下さるようお願いいたします。

※当日は13：00頃より景観・まちづくり委員による東北地方視察の報告を行なう予定になっておりますので、併せてご出席下さいますようお願いいたします。ご案内は議案書送付の際にお送りいたします。

支部長会報告

平成23・24年度 第4回支部長会概要

2月9日(木)午後から行われる理事会を前に午前中に開催された。一般社団法人移行に向けて会計合算のために3回行われた支部長会に引き続き、基準支部規則の改正が必要となるため、改正素案の説明と意見交換が行われた。公益法人制度改革対応専門委員会(以下委員会)からは上原委員長が所用で遅れるため、小林副委員長、芝委員、棕委員、根岸委員、三杉委員が出席。都合により湘南三浦支部長と藤沢支部長が欠席された以外は15支部の支部長が出席。

小林副委員長の挨拶に続き、三杉委員から基準支部規則素案の説明があり、支部長会と委員会で成案を検討し、理事会にて承認を得ることとした。理事会で承認後、各支部において基準支部規則をもとに支部規則を改正し、

支部総会で承認の手続き等を経て新法人設立に併せて施行できる準備をお願いした。

青木湘南三浦支部長から提出された意見をもとに活発な意見交換が行われ、第14条と第19条は委員会で再度検討することとした。

上原委員長が終了前に駆けつけ、支部長への協力要請の挨拶があった。



10

■書籍等販売のお知らせ■

神事協事務局では、建築設計・監理業務委託契約書類や確認済板、日事連バッチ等の販売をしています。詳しくはホームページ内「書籍等の販売」をご覧ください。

<http://www.j-kana.or.jp/member/book.html>

※通信販売もごさいます



建築士のトラブル回避について研修会 開催報告

設計監理指導委員会 梅澤 典雄

平成23年度「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」研修会として「建築士のトラブル回避について」研修会を平成24年2月7日(火)13:15~16:50、横浜情報文化センター情文ホールで開催しました。

三重会からの視察2名の方々を含めて102名の方が参加しました。

研修会は神事協顧問弁護士の城田孝子先生から「建築士のトラブル回避について」、日事連サービス相談役の中川孝昭先生から「賠償責任保険について」、日事連理事・弁護士の富田裕先生から「建築士の責任について」お話を伺いました。

その後、会場のディスカッションで今年の1月31日横浜地裁における耐震不足マンションの判決で設計事務所及び設計者

と確認検査機関に対し14億800万円の支払いを命じられたことが話題になり、建築士の社会的責任、その職責を果たすためになすべきこと、トラブルから設計者を護ることについて活発な議論がなされました。



ツゥバイフォーについて勉強会 開催報告

木造特別委員会
中原 成生

先月8日と13日の2日間にわたり神事協会議室において開催され、若い人も含め30数名の方々が真剣に勉強されました。

まず、工法及び躯体の構成についての解説から始まりましたが、時代に適合(耐震性、耐火性、省エネ性、快適性、環境性)した住宅で、安全・安心・高品質の建築であるという印象を改めて感じる内容でした。また、ビデオ等の記録を見ながら、準耐火構造や耐火構造等の技術進化と建築基準法施行による防火・準防火地域内の建築制限について、そして延べ面積や階数の制限が緩和された事についても学びました。技術基準としては、告示第1540号や第1541号についての解説、また設計・施工基準として参考書籍の紹介および構造材料の解説がありました。

今後、当委員会では3月に「耐力壁計算およびN値の計算方法」をテーマとした勉強会を開催し、また来年度についても各種勉強会の開催を現在検討中です。皆様のご参加をお待ちしております。



支部だより 建築・文化展

横浜支部 高橋 保博



毎年開催される建築・文化展が2月14日から19日までクィーンズスクエアの「みなとみらいギャラリー」で開かれました。

専門の建築はも

しろんのこと、絵画、イラスト、写真、書道、陶芸、キルト等、会員の日ごろの精進の跡を感じさせる力作が集まりました。

趣味のはずがセミプロではないかと思わせる技量の持ち主がいます。

関東学院大学や浅野工学専門学校の学生の作品も展示されました。未来を予感させるアイデアには期待できるものが見えました。

場所が良かったためか、期間中は多くの方が来場しました。各作品に番号をつけ気に入った

作品に投票をしていただきました。どのような結果が出るか楽しみでもあり不安でもあります。今回で16回になります。会員の趣味を発表するささやかな会がいつの間にか発展してきました。これからも会員同士や学生との交流の場として、また市民に建築士の職能を発信する場として少しでも貢献できればと考えています。



支部だより 「平成24年 新春のつどい」

相模原支部 小林 教生

12

平成24年2月3日（金）に、相模原市民会館にて、相模原支部主催による『平成24年 新春のつどい』が、開催されました。当日は、新春のつどいに先立ち支部企画による講習会が実施されました。ブロック支部委員の平山様・白井様・小渡様を講師にお迎えし、今回の表題は『新規開設及び既存建築士事務所のための講習会』でした。新規開設された会員の方を中心とした講習会の為、内容は「建築士事務所の管理と経営」・「設計と工事監理の業務・業務紛争とその事例」等。今後事業を進めて行く上で内容の認識が必要であり、出席者も真剣に聴議しながら内容の確認を行っていた様です。

講習会後は会場を移動し『新春のつどい』が開催されました。相模原市長代理を始め、議員様、関連団体の方々や本会をはじめ他支部の方の総勢18名のご来賓をお迎えし、会員、賛助会員を含め約70名の方々が新春を祝い賑やかに始まりました。

西倉支部長の挨拶には、今年度の支部活動の抱負として大きく2点挙げられました。

①昨年までは協会・一事業者側からの視点で消費者の方々に対応をして参りました。

しかし今年度からは、まず消費者の方々の立場に立ち、何を望み・何を今必要としているかを理解した上で業務にあたる必要があります。そういう観点で協会をPRし、ご理解を得る努力が必要であります。

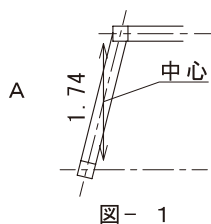
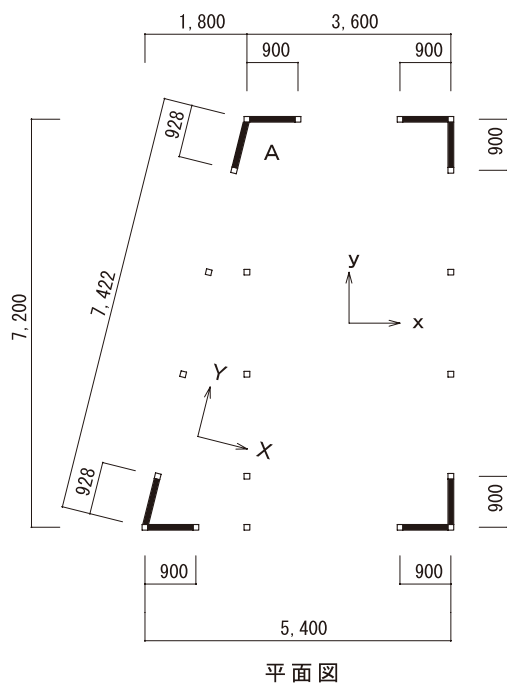
②法律の制定の為に努力する事。私達の業務は建築基準法・建築士に基づいて業務を行っております。しかしこれからは建築基準法と設計事務所業法の立法が望まれます。建築基準法では建築主から設計者・施工業者の責任を明確にし、設計事務所業法で開設者・管理建築士の責任の明確化等が必要であります。

上記の2点を念頭におき、この法定団体としての協会の役割 及び建築士事務所の業務をご理解して頂く事を趣旨として、皆様のご協力の基、信頼の出来る協会を目指したいという考えを述べられました。今だから出来る事。一人一人が感じた事に自身で行動を起こさなければ、より良い信頼を創り出すことは出来ないと感じた『新春のつどい』でした。

建築Q&A 「斜め軸壁の耐力計算について」 vol.7

Q：木造建物で、平面上の斜め軸にある壁の耐力計算はどうすればいいですか？

A：局部的で全体に対する割合が少ない耐力壁でしたら、耐力なしとして無視してよいでしょう。無視できないケースの計算例を下記に示します。尚、理論的にはx方向にも耐力を発生しますが、このケースでは微小であるため考慮しません。更に注意すべきは、X方向を考えた時に、耐力壁が最小となってしまうので、x方向の壁量に余裕を持たせておくことが肝要です。実際量は、X軸方向に対してx y軸を斜め軸として壁量を計算してみてください。



斜め軸壁の耐力は $\cos^2 \theta$

を掛けたものとなります。

例：A部分のy方向の壁倍率x長さは

$$\cos^2 \theta = (7.2 / 7.422)^2 = 0.94$$

$$0.94 \times 2.0 \times 0.928 = 1.74$$

が、(図-1) 1.74の壁が中心位置で働いていることになります。

壁倍率は2.0とします。



※お詫びと訂正：2月号N値法の解説で
柱①の計算結果数値に誤りがありました。

誤 N=0.9 告示1460号(は)

正 N=0.65 告示1460号(ろ)

13

問題 旅のクイズ 第20回

写真の東京市ヶ谷にある坂の名前をお当て下さい。
ヒント：司馬遼太郎「坂の上の雲」の主人公の一人秋山好古が伊予松山から、市ヶ谷の陸軍士官学校に入学の応募のために上京しました。昔の市ヶ谷御門(JR市ヶ谷駅あたり)からお堀を渡り、外堀通りを右手に曲がり、すぐ見える坂です。この坂の上は現在「防衛省」関連の市ヶ谷基地があります。江戸時代は尾州藩のお屋敷のあったところです。



坂の入り口近景



坂の入り口遠景

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。

正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX：045-212-3807 E-mail：noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成24年3月19日(月) 当選者は4月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

第19回(2月号掲載)の当選は下記の通りです。

正解：湯野上温泉駅(会津鉄道会津線)

当選者：川崎支部(株)成建 湯澤 雅弘 様

会員異動報告		
入会		
川崎支部		
飛鳥建設(株)一級建築士事務所	三浦 安博	
〒213-0012 川崎市高津区坂3-2-1 KSP西棟2F		
TEL044-820-7488 FAX044-820-7490		
Studio M'z		
吉田 眞理子		
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-4-2 平成ハイツ103		
TEL03-6892-1195 FAX03-6892-1157		
茅ヶ崎寒川支部		
荒木工務店二級建築士事務所	荒木 昇	
〒253-0013 茅ヶ崎市赤松町4-25		
TEL0467-53-2330 FAX0467-53-2330		
座間支部		
(株)丸山工務店二級建築士事務所	丸山 秀一郎	
〒252-0014 座間市栗原中央3-31-5		
TEL046-298-7711 FAX046-298-7722		
退会		
横須賀支部		
桑原建築設計構造計算事務所	桑原 啓二	
藤沢支部		
(株)住快	井上 裕一	
平塚支部		
T Mプランニング	高橋 宗良	
相模原支部		
水越設計事務所	水越 誠	
変更		
川崎支部		
佐竹建設(株)	佐竹 龍二	
(会員名) 佐竹 由光		
厚木支部		
積水ハウス(株)神奈川シャーマン支店一級建築士事務所	高橋 勝彦	
(会員名) 山岸 豊		
相模原支部		
三栄ハウス(株)一級建築士事務所		
(事務所名) (株)松家住宅三栄一級建築士事務所		
賛助会異動報告		
変更		
ケイエムプロジェクト(会社名変更) officeHUB		
【業種】 Webサイト製作、映像製作、各種印刷、外壁赤外線調査、		
サインポール製作、Androidアプリケーション開発		

編集後記

昨年、神事協は横浜歴史的建造物の見学ツアーを始めました。その終点は横浜開港資料館です。そこは昔ペリーが日本に開国を求め上陸した場所です。当時、米国は捕鯨が盛んで遠く離れた日本に捕鯨の基地が必要でした。今、反捕鯨団体「シー・シェパード」(米国ワシントン州)の南極海での妨害活動により、昨年、日本は調査捕鯨が中止に追い込まれました。新聞によると鯨の脳の中から取れる僅かな油が地球上で最も精密な油として重宝され、ミサイルの方向や角度を保つジャイロスコープの軸受けに使われるという。アメリカは当時の捕鯨活動以来、既に未来100年分の油を確保しているという。命を大切に反捕鯨ですが、実は兵器製造にも関わっていることを反捕鯨団体もご存知のことだろうか…。ツアー参加者も昨年は80名参加の実績となり、今年、新たな計画も始まり旅行社との事業も成功と言えるでしょう。(川崎支部 恩田 耕爾)

かながわ 平成24年3月号(通号365号)

発行	平成24年3月1日(毎月1日発行)	担当副会長	芝 京子
発行人	上原 伸一	広報情報委員長	佐藤 光良
発行所	社団法人 神奈川県建築士事務所協会	広報情報副委員長	内藤 隆之
	〒231-0032 横浜市中区不老町3-12	広報情報委員	稲葉 勉
	第3不二ビル2F		北野 義夫
	TEL. 045-228-0755		杉崎 雅治
	FAX. 045-212-3807		竹尾 秀一
印刷所	株式会社 柏苑社	事務局	野口 友弘
			恩田 耕爾
			小泉 厚
			高橋 保博
			新倉 良一
			坂本 歩美

大型木造建築支援《YS》キャンペーン実施中!

ちょっと
待って!!

その建物 木造でできるかも!?

カネシン、東昭エンジニアリング、ニューホームシステムのワイエスグループは、大型木造建築を応援します。公共建築物等における木材利用の促進に関する法律が施行され、グループホームや病院・診療所などの低層公共建築物は木造化が原則となります。先進の接合金物《プレセッター》のカネシン、定評ある木造構造計算の東昭エンジニアリング、国土交通省の壁倍率3.9倍認定を取得した高気密・高断熱パネル《T・Nパネル》のニューホームシステムの3社による《ワイエスグループ》は、YSキャンペーンを実施中! 3つの特典で大型木造建築の設計・施工を応援します。このチャンスをどうぞお見逃しなく。

大型木造建築支援

YS
キャンペーン

2月10日⇒4月30日

3つの
特典

特典
1

《プレセッター》をキャンペーン価格で!
高強度でスピーディな作業を実現する《プレセッター》をキャンペーン特別価格でご提供いたします。

PRESETTOR

特典
2

構造木造化 無料相談!
大型木造建築の設計で懸念される大空間、設備なども経験豊富なスタッフが丁寧に相談に応じます。

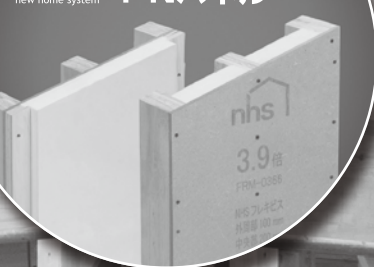
構造計算が
住まいに
新しい風を

TEC
Architects & Engineers

特典
3

温熱計算 無料実施!
《T・Nパネル》をご採用頂いた住宅の省エネルギー性能について、熱損失係数(Q値)・夏期日射取得係数(μ値)の計算を無料で実施いたします。
※T・Nパネルをご採用頂いた住宅に限り実施。

壁倍率3.9倍
大臣認定取得
T・Nパネル



KANESHIN

株式会社 カネシン <http://www.kaneshin.co.jp/>

本 社 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4丁目19番12号 TEL.03-3696-6781 / FAX.03-3696-6770
大阪支店 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島7丁目6番23号日の出ビル5階 TEL.06-6458-6446 / FAX.06-6458-6696

●お問い合わせは

TEL 0120-106781
FAX 0120-677010